

2022年2月10日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ  
 代表者名 代表執行役会長CEO スコット キャロン  
 (コード番号 6740 東証一部)  
 問合せ先 代表執行役CFO 大河内 聡人  
 (TEL. 03-6732-8100)

通期連結業績予想の修正（売上高下方修正、損益上方修正）及び  
 第3四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日に公表した2022年3月期第4四半期及び通期の連結業績予想について、売上高を下方修正し、損益を上方修正いたしましたので、お知らせいたします。また、同日に発表した2022年3月期第3四半期の連結業績予想と本日発表の実績に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

1. 2022年3月期第4四半期及び通期連結業績予想の修正

(1) 2022年3月期第4四半期（2022年1月1日～2022年3月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	86,000	300	△2,100	△2,600	△4,000	△0.94
今回発表予想 (B)	81,500	1,100	△1,200	△1,700	△2,100	△0.48
増減額 (B-A)	-4,500	+800	+900	+900	+1,900	
増減率 (%)	-5.2%	+266.7%	-	-	-	
(ご参考) 前年同期実績 (2021年3月期第4四半期)	69,152	△4,690	△7,599	△6,691	△19,770	△8.00

## (2) 2022年3月期通期 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	297,000	△4,400	△13,100	△14,500	△18,400	△4.77
今回発表予想 (B)	291,018	△2,588	△11,317	△11,773	△8,430	△2.16
増減額 (B-A)	-5,982	+1,812	+1,783	+2,727	+9,970	
増減率 (%)	-2.0%	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	341,694	△12,502	△26,226	△32,656	△42,696	△17.93
(ご参考) 半導体不足の 影響を除いた場合	321,500	7,700	△1,000	△1,500	1,900	

## (3) 修正の理由

半導体の世界的な需給逼迫による生産への影響やそれに伴う顧客からの受注減のリスクを踏まえ、売上高の予想を若干下方修正いたします。一方、当第3四半期の損益が予想より改善したことに加え、2022年1月21日付「Tianma Microelectronics Co., Ltd.との和解に関するお知らせ」にて公表したライセンス料の計上、また、部材コスト増の販売価格への転嫁、一部製品の値上げの効果を反映し、損益を上方修正いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートを、1米ドル=112円から114円に修正いたしました。為替感応度（対ドルで1円変動時の年間影響額）は、売上高が約22億円、営業利益は約10億円（円安で増収増益）です。

## 2. 2022年3月期第3四半期連結業績予想と実績の差異

## (1) 第3四半期連結会計期間 (2021年10月1日～2021年12月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	73,000	△2,000	△4,000	△4,400	△5,700	△1.34
実績値 (B)	71,657	△927	△3,084	△2,502	2,422	0.57
増減額 (B-A)	-1,343	+1,073	+916	+1,898	+8,122	
増減率 (%)	-1.8%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2021年3月期第3四半期)	72,747	△5,651	△8,747	△10,754	13,360	5.52

(2) 第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	211,860	△4,761	△11,033	△11,970	△14,453	—
実績値 (B)	209,518	△3,688	△10,117	△10,073	△6,330	△1.70
増減額 (B-A)	-2,342	+1,072	+916	+1,897	+8,123	
増減率 (%)	-1.1%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2021年3月期第3四半期)	272,542	△7,812	△18,627	△25,964	△22,926	△9.72
(ご参考) 半導体不足の 影響を除いた場合	230,200	4,400	△2,100	△2,000	1,700	

(注) 前回発表予想は、2022年3月期第2四半期連結累計期間の実績値に、2021年11月12日に発表した当第3四半期連結会計期間の予想値を合算して算出しております。

(3) 差異の理由

半導体不足による生産への影響やそれに伴う顧客からの受注減のリスク、及び部材コストの上昇見込みを保守的に織り込んだ業績予想を発表しておりましたが、部材コスト増の販売価格への転嫁、計画以上のコスト削減等により、EBITDA及び営業損益は予想より改善いたしました。また、過年度に貸倒損失計上した債権の回収に伴う償却債権取立益や為替差益の計上により経常損益も改善いたしました。更に、2022年2月8日付「(開示事項の経過) 連結子会社の株式売却に伴う特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、連結子会社株式の譲渡に伴う関係会社株式売却益 5,378 百万円を特別利益として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損益は予想よりも大幅に改善いたしました。

業績の詳細につきましては、本日発表の「2022年3月期 第3四半期 決算短信」をご参照下さい。

以 上

上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。